―――――― 医薬品の適正使用に欠かせない情報です。必ずお読みください。――――――

使用上の注意改訂のお知らせ

2022年11月

四環系抗うつ剤

テトラミド®錠10mg
テトラミド®錠30mg

注意－医師等の処方箋により使用すること

このたび、標記製品の「使用上の注意」を以下のとおり改訂しましたのでお知らせいたします。
今後のご使用に際しましては最新の電子添文をご参照くださいますようお願い申し上げます。
弊社製品のご使用にあたって、副作用等臨床上好ましくない事象をご経験の際には、弊社までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

オルガノン株式会社

《改訂概要》

改訂項目	改訂内容
10. 相互作用 10.2 併用注意	『リネゾリド』を追記しました。

・今回の改訂内容は医薬品安全対策情報（DSU）No.313（2022年12月）に掲載されます。
・改訂後の電子添文全文は、医薬品医療機器総合機構の情報提供ホームページ（https://www.pmda.go.jp/）ならびに弊社ホームページ（https://www.organonconnect.jp/）に掲載しております。
・添付文書閲覧アプリ「添文ナビ」を用いて、以下のGS1バーコードを読み取ることで、PMDAホームページ上の最新の電子添文等をご覧いただけます。

(01)14987081243980

《改訂内容》

改訂後

10. 相互作用

10.2 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
リネゾリド	発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等があらわれるおそれがある。	機序は不明であるが、以下のような説がある。 a. 中枢性アドレナリン受容体の感受性の増強 b. 神経外アミン総量の増加及び本剤によるモノアミン作動性神経終末におけるアミン取り込み阻害 リネゾリドは、非選択的、可逆的MAO阻害作用を有する。
中枢神経抑制剤 バルビツール酸誘導体等	略（変更なし）	略（変更なし）
略（変更なし）		

改訂前

10. 相互作用

10.2 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
中枢神経抑制剤 バルビツール酸誘導体等	略	略
略		

（＿＿＿部：自主改訂）

《改訂理由》

10. 相互作用

10.2 併用注意

『リネゾリド』との併用により、発汗、不穏、全身痙攣、異常高熱、昏睡等があらわれるおそれがあるため、追記しました。

製品情報お問い合わせ先

オルガノン株式会社
東京都港区南青山1－24－3

オルガノン株式会社 カスタマーサポートセンター
フリーダイヤル 0120-095-213
＜受付時間＞9:00 ～ 17:30（土日祝日・当社休日を除く）

2022年11月
改訂連絡番号：22-03